

TOKYOINK NEWS

No.18

東京インキニュース
2013.9

当社の製品群は「安心・安全」「防災・復旧」「環境・エコ」をコンセプトに開発を推進しています。

代理店通信 8  愛知県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、「大和産資株式会社」様からのご意見やご感想を紹介します。

中部地区におけるテラセル工法の賛辞 テラセル® 擁壁工法

大和産資株式会社 名古屋営業所 所長 赤嶺 嘉隆



大和産資株式会社 赤嶺所長

「コンクリートから人へ」かつて、この言葉が世の中に広まりました。

中部地区においてテラセル工法、テールアルメ工法に注力して営業活動を行う私どもには、「どきっ!!」としたものです。あれから数年、今や『コンクリートからテラセルへ!!!』このキャッチフレーズが大当たりです。

全国的な施工実績が増えているテラセルですが、中部地区においてもかなりの設計導入・施工実績が増えてきております。まさに、コンクリートブロック積からテラセルに変更して頂いております。従来の補強土壁工における設計提案営業では見落としていた部分だと思えます。これまでは、盛土側の構造物にばかり目がいて

おり、「山側の切土擁壁工」についてはブロック積で当然とみてビジネスチャンスは無いだろうと…しかし、ブロック積工には現場において様々な問題点がありました。

- ① **熟練職人工の減少**：ブロック積工というのは、数種のブロックを組合せ、且つ勾配をもち、平面線形が曲線もあるという複雑な施工になります。決して簡単な施工ではない。
- ② **狭小場所での材料の搬入**：狭い施工場所においてブロック材料の仮置きスペースや、搬入に非常に困難を要する。
- ③ **施工期間**：「基礎コンクリートの打設・養生」、「裏込砕石等」の施工手順を要するため、どうしても施工日数がかかってしまう。

この様な問題点をすべて、テラセル工法が解決してくれます。

私どもはこの要素を徹底的に役所、コンサル、ゼネコンに営業推進してまいりました。その結果、活動に合わせ実績が増えてきております。

実際に契約し、現場にて施工して頂いた際に感じるのは、「これはイイネ」「施工が早いし、自分たちで出来るからイイヨ」という賛辞の御言葉を頂いた時です。

やはり、商売というのは買って頂いたお客様に「イイネ」、「イイヨ」と喜んでもらう事が大事だと、改めて思いました。夏の暑い中も冬の寒い中も、我々の販売する材料を施工する人達がいいます。その人達に喜んで頂ける工法が必要です。テラセルはそういう工法になっていると実感しています。

今後も、より一層の営業推進を行い「イイネ」、「イイヨ」を頂けるよう努めていきたいです。



国交省紀勢道 (三重県)



北大谷霊園災害復旧 (三重県)

『RRS[®]工法』を共同開発

当社は高密度ポリエチレンシートを立体ハニカム構造にした製品の「テラセル」を使用した斜面補強工法『RRS工法』を鉄道総合技術研究所、複合技術研究所、ライト工業と共同開発しました。線路や道路を支える盛土のり面及び切土のり面、自然斜面等を対象に地震や降雨による崩壊が懸念される箇所に対する耐震・耐降雨補強を目的としています。

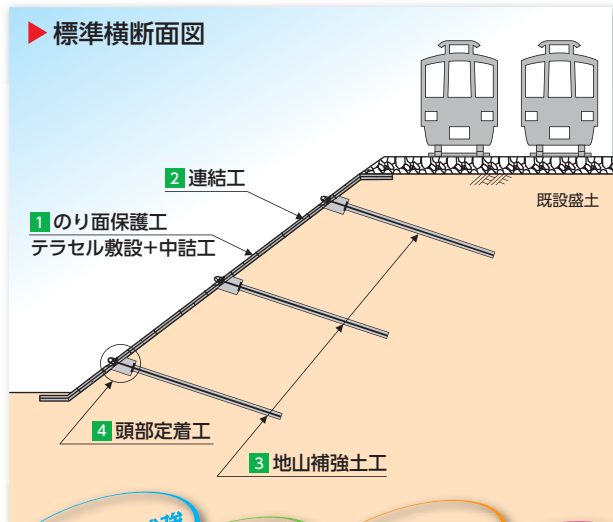
現在、高架橋の耐震対策が進み、線上構造物である鉄道としては盛土などの土構造物の補強が注目されつつあり、地震や雨に対する盛土などの補強方法が重要視されてきています。既設の盛土に対して補強を行うのは容易ではなく、地山補強材の種類や頭部構造が重要になります。

地山補強材に対する支圧のみであれば支圧プレートで十分ですが、ゲリラ豪雨などによる局所的な浸食に対するのり面保護も求められており、これらの機能をあわせ持った支圧部材が必要とされています。従来の格子枠工は剛性があり、斜面の安定を図るものの施工性や経済性に劣ります。この観点から剛性は下がるが、施工性に優れた簡易な枠工の適用が近年増えています。

共同開発した工法は連続的なのり面工として立体ハニカム構造のテラセルを用い、テラセル内に配筋した鉄筋と補強材頭部とを一体化させ、支圧部を組み合わせることでのり面と地山の安定化を図る新しい斜面補強工法です。テラセルは連続的に敷設できるとともに立体構造であり曲げ剛性が期待でき、セルの中詰材を変えることにより剛性のコントロールもできます。

鉄道盛土を対象とする場合は狭隘な場所が多く、作業時間も限定されますが、テラセルの敷設は大型の重機を使用せずに人力主体による施工が可能のため、軽量かつコンパクトな主要資材の搬入し易さは大きなメリットです。政府は国土強靱化でインフラの再整備を進める計画ですが、最初から作り直すのはコスト面から難しく、既存の設備を活かしつつ耐震・耐候降雨性などを高められる工法が求められています。RRS工法は経済性にも優れ、今年4月に一部運行再開した三陸鉄道南リアス線（岩手県）の斜面補強にも採用されました。今後は鉄道などの耐震・耐降雨補強に加え、道路を管理する国・地方自治体などにも積極的に普及を進めていきます。

▶ 標準横断面図



耐震・耐降雨補強

効率的な施工

経済性の向上

景観性の向上

1 のり面保護工

テラセル内に中詰材（モルタル、植生土のう、現地発生土、砕石等）を充填した連続のり面保護工。

2 連結工

テラセルのセル面に設けた溝または孔に連結用棒鋼を通して、セル展開面の縦・横方向を連結・一体化させ、テラセルによるのり面保護工を強化する。

3 地山補強土工

対象とする斜面のすべり崩壊に対して、地山補強材の引抜き抵抗により安定を確保するための斜面補強工である。のり面保護工と一体化させた構造とすることにより、すべりの規模に応じた補強材を選定・適用することができる。

4 頭部定着工

のり面保護工と地山補強土工を一体化させる目的で、支圧板を補強材頭部にナット等で定着し、連結することにより、対象構造物の耐震性や耐降雨性を向上させる。



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7627
生産技術部	〒114-0002 東京都北区王子1-12-4	TEL.03-5902-7628
札幌営業所	〒065-0020 札幌市東区北二十条東18-2-1	TEL.011-784-7772
仙台営業所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-1-18	TEL.022-274-3531
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-25	TEL.025-245-3141
名古屋支店	〒452-0813 名古屋市中区赤城町112	TEL.052-503-3721
大阪支店	〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町1-28	TEL.06-6761-0077
広島営業所	〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-5-13	TEL.0829-34-4100
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-13-5	TEL.092-503-8979